



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	21,609	2.0	1,721	9.3	1,836	3.1	1,226	10.1
2020年9月期第1四半期	21,177	△5.9	1,575	△12.2	1,781	△2.2	1,113	△7.1

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 1,354百万円(△0.7%) 2020年9月期第1四半期 1,363百万円(73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	42.81	42.51
2020年9月期第1四半期	38.88	38.62

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	49,095	31,744	63.8
2020年9月期	47,230	31,038	64.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 31,337百万円 2020年9月期 30,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	18.50	—	19.00	37.50
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	18.50	—	19.00	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	7.8	4,000	△16.5	4,200	△20.3	2,700	△10.4	94.27

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社の経営計画および業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期1Q	29,007,708株	2020年9月期	29,007,708株
2021年9月期1Q	366,320株	2020年9月期	366,320株
2021年9月期1Q	28,641,388株	2020年9月期1Q	28,631,031株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、および「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や海外経済の改善によって持ち直しの動きがみられました。しかし、米国政権交代の影響や感染者数の増加を受けた緊急事態宣言の再発出等、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は21,609百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は1,721百万円（前年同四半期比9.3%増）、経常利益は1,836百万円（前年同四半期比3.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,226百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より経営管理区分を変更したことに伴い、従来「化成品」セグメントに含まれていた㈱ワイピーテックを「機械資材」セグメントに変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

①化成品

ゴム関連商品は、需要回復の動きが鈍く売上、利益ともに前年同期を下回りました。化学品関連商品では、畜産関連事業の移管により減収となりましたが、主力の塗料・インキ関連は好調に推移し、また新たに発足した三洋ライフマテリアル㈱も収益に寄与しました。

この結果、売上高は7,206百万円（前年同四半期比8.1%減）、セグメント利益（営業利益）は425百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品では、日系自動車メーカーの製造挽回に伴い堅調でした。機械・環境関連商品は、本体の大型案件計上はありませんでしたが、消耗部品や保守サービスを中心に平調でした。コスモス商事㈱は地熱向け掘削機材の販売は順調でしたが、利益は大型案件を計上した前期に届きませんでした。㈱ワイピーテックは畜産向け飼料添加剤が好調で荷動きは活発でしたが、コンテナ不足による海外輸送費用の増加に事業移管に伴う経費増も重なり減益でした。科学機器関連商品は、コロナ禍で遅延していた検収が実現し増収でしたが、採算は悪化し減益となりました。

この結果、売上高は8,560百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,149百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、高吸水性樹脂や自動車部品、ゴム関連が好調に推移しました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、ゴム関連は低調でしたが、自動車市場の急回復により自動車部品が大幅に伸長し、全体としては非常に好調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、ゴム・化学品・自動車部品共に堅調で、販管費の減少も加わって増収増益となりました。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、自動車部品の出荷が好調で売上は拡大しましたが、物流コストの上昇等により営業利益では前年同期を下回りました。

なお、今期よりPT. Sanyo Trading Indonesiaを連結の範囲に含めています。

この結果、売上高は5,813百万円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント利益（営業利益）は364百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、棚卸資産や前渡金の減少の一方、期末日が金融機関の休日であったことに伴う売上債権の増加等により、前連結会計年度末比1,585百万円増加し、41,077百万円となりました。

固定資産は、主に工場建設に伴う建設仮勘定の増加により、前連結会計年度末比279百万円増加し、8,018百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は49,095百万円（前連結会計年度末比1,865百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、法人税等の納付によって未払法人税が減少しましたが、仕入債務や前受金が増加したことによって、前連結会計年度末比1,019百万円増加し、15,879百万円となりました。

固定負債は、長期借入金や繰延税金負債の増加によって、前連結会計年度末比139百万円増加し、1,472百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は17,351百万円（前連結会計年度末比1,159百万円の増加）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加によってその他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産は31,744百万円（前連結会計年度末比705百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期連結業績予想につきましては、2020年11月6日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,418,674	10,554,851
受取手形及び売掛金	14,157,872	16,162,363
電子記録債権	955,911	1,298,739
商品及び製品	12,275,711	11,662,951
仕掛品	6,421	5,173
原材料及び貯蔵品	3,071	4,697
その他	1,709,181	1,439,572
貸倒引当金	△35,069	△50,652
流動資産合計	39,491,774	41,077,696
固定資産		
有形固定資産	2,675,535	3,021,371
無形固定資産		
のれん	723,329	673,940
その他	484,268	445,938
無形固定資産合計	1,207,597	1,119,879
投資その他の資産		
投資有価証券	2,974,820	3,006,715
その他	883,982	873,092
貸倒引当金	△3,001	△2,935
投資その他の資産合計	3,855,800	3,876,871
固定資産合計	7,738,934	8,018,122
資産合計	47,230,708	49,095,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,098,568	7,956,419
短期借入金	4,369,188	4,355,446
1年内返済予定の長期借入金	—	5,010
未払法人税等	816,975	625,274
引当金	51,895	158,747
その他	2,523,123	2,778,605
流動負債合計	14,859,752	15,879,502
固定負債		
長期借入金	160,000	254,990
引当金	41,507	42,598
退職給付に係る負債	893,025	895,199
その他	237,944	279,295
固定負債合計	1,332,477	1,472,083
負債合計	16,192,230	17,351,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	404,235	404,235
利益剰余金	29,058,414	29,673,726
自己株式	△176,221	△176,221
株主資本合計	30,293,016	30,908,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533,735	587,889
為替換算調整勘定	△197,283	△158,657
その他の包括利益累計額合計	336,451	429,232
新株予約権	107,701	107,701
非支配株主持分	301,309	298,972
純資産合計	31,038,478	31,744,232
負債純資産合計	47,230,708	49,095,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	21,177,749	21,609,536
売上原価	17,065,180	17,478,660
売上総利益	4,112,568	4,130,876
販売費及び一般管理費	2,537,527	2,409,258
営業利益	1,575,041	1,721,617
営業外収益		
受取利息	4,297	6,251
受取配当金	24,256	23,406
為替差益	183,279	86,916
その他	9,329	12,878
営業外収益合計	221,162	129,452
営業外費用		
支払利息	5,564	6,929
売上割引	2,385	2,242
その他	7,125	5,145
営業外費用合計	15,074	14,318
経常利益	1,781,128	1,836,752
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15,514
特別利益合計	—	15,514
税金等調整前四半期純利益	1,781,128	1,852,267
法人税等	663,221	622,006
四半期純利益	1,117,907	1,230,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,667	4,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,113,240	1,226,186

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,117,907	1,230,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127,883	54,043
為替換算調整勘定	117,797	70,327
その他の包括利益合計	245,680	124,371
四半期包括利益	1,363,588	1,354,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,358,922	1,350,666
非支配株主に係る四半期包括利益	4,666	3,965

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,842,928	8,479,309	4,813,224	21,135,462	28,603	21,164,065	13,683	21,177,749
セグメント間の 内部売上高又は振替高	623,263	90,856	533,763	1,247,882	9,175	1,257,057	△1,257,057	—
計	8,466,191	8,570,165	5,346,987	22,383,345	37,778	22,421,123	△1,243,374	21,177,749
セグメント利益	378,589	1,057,357	268,480	1,704,428	19,965	1,724,393	△149,352	1,575,041

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額13,683千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額△149,352千円には、各報告セグメントに配分していない販売費および一般管理費△192,587千円、管理会計との為替調整額23,813千円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、㈱ワイピーテックの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん757,004千円を計上しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,206,070	8,560,627	5,813,986	21,580,684	28,997	21,609,681	△144	21,609,536
セグメント間の 内部売上高又は振替高	903,732	154,782	329,568	1,388,082	8,242	1,396,325	△1,396,325	—
計	8,109,803	8,715,409	6,143,554	22,968,766	37,239	23,006,006	△1,396,469	21,609,536
セグメント利益 又は損失(△)	425,870	1,149,443	364,690	1,940,004	△35,373	1,904,630	△183,012	1,721,617

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額△144千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△183,012千円には、各報告セグメントに配分していない販売費および一般管理費△189,809千円、管理会計との為替調整額△4,347千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(株)ワイピーテックに関連する事業を「化成品」セグメントとして区分してきましたが、経営管理区分を変更したことを踏まえ、当第1四半期連結会計期間より、「機械資材」セグメントへと区分する方法に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である三洋ライフマテリアル(株)が非連結子会社であった(株)NKSコーポレーションを吸収合併しています。当該事象により、「化成品」セグメントにおいて、のれんが27,736千円増加しています。